

科目名	脳・神経学	担当教員		當摩 智	
学年・学期	2年	時間数	15	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として総合病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例を中心に生理学的状態について実践的な授業を行う。

授業概要

人体の正常な状態（生理学的状態）を理解し、機能を説明できる。

授業計画

1	中枢神経	講義
2	末梢神経 - 1	講義
3	末梢神経 - 2	講義
4	内分泌	講義
5	心機能（心電図）	講義
6	呼吸	講義
7	消化・吸収・排泄	講義
8	定期試験	試験
成績評価法	小テスト及び定期試験 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。	
使用テキスト		
参考文献		
備考	副教材：プリント 使用器材等：コンピューター、プロジェクター	

科目名	視覚機能検査機器学 I	担当教員	中嶋 敬		
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として総合病院等での実務経験によって、現在臨床で使用されている眼位・眼球運動検査等の検査機器の特徴や使用方法の具体例を挙げて実践的な授業を行う。

授業概要

両眼視機能を成立させる諸要素の理論を理解する。

授業計画

1	斜視総論	講義 演習 実習
2	斜視総論	講義 演習 実習
3	斜視総論	講義 演習 実習
4	斜視総論	講義 演習 実習
5	斜視総論	講義 演習 実習
6	外眼筋の作用と眼球運動	講義 演習 実習
7	外眼筋の作用と眼球運動	講義 演習 実習
8	外眼筋の作用と眼球運動	講義 演習 実習
9	眼位検査	講義 演習 実習
10	眼位検査	講義 演習 実習
11	眼位検査	講義 演習 実習
12	眼位検査	講義 演習 実習
13	眼位検査	講義 演習 実習
14	眼位検査	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	定期試験、レポート、実習 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。	
使用テキスト	視能学	
参考文献		
備考		

科目名	視覚機能検査機器学Ⅱ	担当教員	中嶋 敬		
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として総合病院等での実務経験によって、現在臨床で使用されている視力検査・視野検査等の検査機器の特徴や使用方法の具体例を挙げて実践的な授業行う。

授業概要

眼科診療検査機器を学び、使用目的を理解する。

授業計画

1	視力・屈折検査①	講義 演習 実習
2	視力・屈折検査②	講義 演習 実習
3	視力・屈折検査③	講義 演習 実習
4	視力・屈折検査④	講義 演習 実習
5	視力・屈折検査⑤	講義 演習 実習
6	視力・屈折検査⑥	講義 演習 実習
7	視野検査①	講義 演習 実習
8	視野検査②	講義 演習 実習
9	視野検査③	講義 演習 実習
10	視覚検査①	講義 演習 実習
11	視覚検査②	講義 演習 実習
12	レンズメーター①	講義 演習 実習
13	レンズメーター②	講義 演習 実習
14	瞳孔間距離	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	筆記試験 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。	
使用テキスト	眼科検査ガイド	
参考文献		
備考	副教材：プリント	

科目名	視能矯正学概論	担当教員		當摩 智	
学年・学期	1年	時間数	15	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として総合病院等での実務経験で、実際に経験した斜視弱視の例をもとに、視覚の成長について実践的な授業を行う。

授業概要

両眼視機能の基礎を修得する。

授業計画

1	斜視・弱視総論	講義
2	なぜものが見えるか	講義
3	両眼視 複視	講義
4	両眼視 網膜異常対応	講義
5	両眼視 網膜異常対応	講義
6	両眼視 調和性・不調和性異常対応	講義
7	両眼視 眼位・復習・小テスト	講義
8	試験	試験
成績評価法	筆記試験 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。	
使用テキスト	視能学	
参考文献		
備考	副教材：プリント	

科目名	基礎視能矯正学演習	担当教員		大高 祐介	
学年・学期	1年	時間数	60	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として総合病院等での実務経験で、実際に経験した症例をあげ、視能矯正の理論について実践的な授業を行う。

授業概要

視能矯正の理論と実際を学ぶ。

視能矯正の分野は視能訓練士として理解すべき分野のため、将来的に臨床で用い、学内においての実習、国家試験に向けての基本を修得する。

授業計画

1	視器の解剖（構造・眼球各部の作用）	講義 演習 実習
2	視器の解剖	講義 演習 実習
3	眼筋の解剖と機能	講義 演習 実習
4	眼筋の解剖と機能	講義 演習 実習
5	眼筋の病態	講義 演習 実習
6	眼筋の病態	講義 演習 実習
7	眼筋の病態	講義 演習 実習
8	眼の電気生理	講義 演習 実習
9	眼の生理光学	講義 演習 実習
10	視覚の光化学	講義 演習 実習
11	色覚とその異常	講義 演習 実習
12	形態覚の生理	講義 演習 実習
13	形態覚の生理	講義 演習 実習
14	総括	講義 演習 実習
15	試験	試験
16	視覚の生理と病態	講義 演習 実習
17	視覚の生理と病態	講義 演習 実習
18	視覚の生理と病態	講義 演習 実習
19	視覚の生理と病態	講義 演習 実習
20	正常両眼視機能と病態	講義 演習 実習
21	正常両眼視機能と病態	講義 演習 実習
22	視覚の生理と病態	講義 演習 実習
23	薬理	講義 演習 実習
24	薬理	講義 演習 実習
25	正常両眼視機能と病態	講義 演習 実習
26	正常両眼視機能と病態	講義 演習 実習

27	正常両眼視機能と病態	講義 演習 実習
28	正常両眼視機能と病態	講義 演習 実習
29	総括	講義 演習 実習
30	試験	試験
成績評価法	筆記試験 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。	
使用テキスト	視能矯正 -理論と実際- (P2～P164)	
参考文献		
備考	副教材：眼・視覚学	

科目名	視能検査学演習 I	担当教員		當摩 智	
学年・学期	1年	時間数	60	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として総合病院等での実務経験で経験した眼科検査を紹介しながら、臨床で必要となる実践的な基本的知識の習得を目指し、授業を行う。

授業概要

視能訓練士として必要な眼科の基本的な知識を習得する。

授業計画

1	解剖・発生	講義 演習 実習
2	解剖・発生	講義 演習 実習
3	解剖・発生	講義 演習 実習
4	眼科診療の手順	講義 演習 実習
5	視機能とその検査	講義 演習 実習
6	視機能とその検査	講義 演習 実習
7	視機能とその検査	講義 演習 実習
8	視機能とその検査	講義 演習 実習
9	視機能とその検査	講義 演習 実習
10	視機能とその検査	講義 演習 実習
11	眼瞼疾患	講義 演習 実習
12	涙器疾患	講義 演習 実習
13	結膜疾患	講義 演習 実習
14	角膜・強膜疾患	講義 演習 実習
15	定期試験	試験
16	眼瞼疾患	講義 演習 実習
17	涙器疾患	講義 演習 実習
18	結膜疾患	講義 演習 実習
19	角膜・強膜疾患	講義 演習 実習
20	ぶどう膜疾患	講義 演習 実習
21	網膜・硝子体疾患	講義 演習 実習
22	水晶体疾患	講義 演習 実習
23	緑内障	講義 演習 実習
24	視神経・視路疾患	講義 演習 実習
25	小児眼科	講義 演習 実習
26	外眼筋疾患	講義 演習 実習
27	眼窩疾患	講義 演習 実習

28	全身病と眼	講義 演習 実習
29	外傷	講義 演習 実習
30	定期試験	試験
成績評価法	平常点と定期試験 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。	
使用テキスト	現代の眼科学 改訂12版 P2～P61、P80～P359	
参考文献		
備考	使用機材等：プロジェクター 副教材：P. P、配布プリント	

科目名	視能訓練学各論Ⅱ	担当教員		福留 茂子	
学年・学期	2年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として総合病院等での実務経験で経験した症例を紹介しながら、特殊症例の実践的な知識の習得を目指し、授業を行う。

授業概要

視覚発達の促進や種々の視能障害に対する矯正、訓練、指導、管理の立場から必要な知識と技術を習得する。

授業計画

1	小児眼科 外眼筋疾患	講義 演習 実習
2	小児眼科 外眼筋疾患	講義 演習 実習
3	外眼筋疾患 眼窩疾患	講義 演習 実習
4	外眼筋疾患 眼窩疾患	講義 演習 実習
5	眼窩疾患 全身病と眼	講義 演習 実習
6	眼窩疾患 全身病と眼	講義 演習 実習
7	眼窩疾患 全身病と眼	講義 演習 実習
8	眼窩疾患 全身病と眼	講義 演習 実習
9	全身病と眼 外傷	講義 演習 実習
10	全身病と眼 外傷	講義 演習 実習
11	全身病と眼 外傷	講義 演習 実習
12	薬理学	講義 演習 実習
13	薬理学	講義 演習 実習
14	第一次検査	講義 演習 実習
15	筆記試験	試験
成績評価法	定期試験 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。	
使用テキスト	現代の眼科学 斜視・弱視の診断検査法 薬理学	
参考文献		
備考		